



多摩市平和展 ICAN のバラ贈呈式 & 講演会

サヘル・ローズさんと川崎哲先生に聞く！

多摩市、 次の平和 50 年への パスポート



核兵器廃絶国際キャンペーンに因んで名づけられた平和のバラ「ICAN」を市内中学校に贈呈すると共に俳優のサヘル・ローズさん、恵泉女学園大学非常勤講師で ICAN 国際運営委員の川崎哲先生をお招きした講演会を行います！

次の多摩市 50 年が、優しい平和なまちになるように、サヘルさんと川崎先生にヒントを貰いましょう！

参加
無料

先着順

※当日直接会場へ

2022.7.24 (日)

開場 13:30 開演 14:00 終演 15:30

パルテノン多摩 大ホール

【問合せ】

多摩市平和・人権課
042-376-8311



登壇者

サヘル・ローズさん 俳優

川崎哲先生 恵泉女学園大学非常勤講師、
ICAN 国際運営委員



1985 年イラン生まれ。7 歳までイランの孤児院で過ごし、8 歳で養母とともに来日。
高校生の時から芸能活動を始め、主演映画『冷たい床』はさまざまな国際映画祭で正式出品され、イタリア・ミラノ国際映画祭にて最優秀主演女優賞を受賞。
芸能活動以外にも、国際人権 NGO の「すべての子どもに家庭を」の活動で親善大使を務めた。また、アメリカで人権活動家賞を受賞する。



1968 年東京生まれ。東京大学法学部卒業。
恵泉女学園大学非常勤講師であり、2017 年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」の国際運営委員をつとめる。ピースボート共同代表。
核兵器廃絶日本 NGO 連絡会の共同世話人として、NGO 間の連携および政府との対話促進に尽力している。

多摩市 × 恵泉 平和の軌跡



×



多摩市にある恵泉女学園大学には、平和や国際を始め、園芸や子ども関係を学ぶ学科があり、多摩市ともいろいろな分野で協働しています。多摩市立グリーンライブセンターも恵泉女学園大学が運営を受託していること、知っていましたか？そんな多摩市と恵泉女学園大学が連携した、平和活動の一部をご紹介します！

2021年で50歳です
多摩市

生涯就業力を磨く
恵泉女学園大学

- 2017年7月 核兵器禁止条約が国連総会で採択。
- 2017年10月 ノーベル平和賞が核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) に授与されることが決定。
- 2017年11月 世界各地の被爆者をオスロの授賞式に参加させることを目的に、恵泉女学園大学有志と多摩市（後援）で募金キャンペーンを開始。
- 2017年12月 授賞式を前にキャンペーンの成果報告と募金の贈呈式を実施。川崎先生からオスロに向けての募金の使用方法、日本を含め、世界各地から参加する被爆者のプロフィールなどについて紹介。
- 2018年1月 恵泉女学園大学と多摩市が共催で、ノーベル平和賞授賞式の式典に参加した日本からの被爆者代表、川崎先生を招いて報告会を実施。
- 2020年2月 広島県在住の被爆者で、バラの育種家である田頭数蔵さんから、川崎先生を通じて恵泉女学園大学と多摩市に、受賞を記念した新種のバラ「ICAN」の苗が贈られる。
- 2020年5月 かねてから戦争のない世界を願い、演劇やメディアでメッセージを発信し続けているサヘル・ローズさんに、多摩市立グリーンライブセンターで ICAN のバラが贈られた。
- 2021年1月 核兵器禁止条約が発効。
- 2022年7月 平和を想う気持ちを次の世代に繋いでいくため、多摩市内中学校 9 校に ICAN のバラを贈呈。多摩市市制施行 50 周年を記念して、サヘルさんと川崎先生をお招きし、多摩市の次の 50 年が、優しい平和なまちになるように願って講演会を実施。

多摩市は 2011 年 11 月に多摩市市制施行 40 周年を記念して非核平和都市宣言をおこなっており、全ての核兵器の廃絶と平和な世界を願っている自治体です。



多摩市への贈呈式当日は、恵泉女学園大学の大日向雅美学長も出席されました。



恵泉女学園大学が学内に社会園芸学科を持つという繋がりもあって、ICAN のバラの苗が大学と多摩市に寄贈されることとなりました！



多摩市立グリーンライブセンターでは、恵泉女学園大学公開講座の終了生により結成されたローズボランティアの協力で育てられている平和のバラ「ICAN」をご覧ください！



市内 9 校の公立中学校に ICAN のバラを贈呈します。

これから

次の 50 年もみんなの力で平和な多摩市に、平和な世界に！

いのちの手で紡ぐ スタンプアート展



7/23 (土)・24 (日) で
展示開催！

パルテノン多摩 2 階ロビー
10:00 ~ 19:00
※7/24 は 16:00 まで

「このまちの一人一人が、みんな大切で必要な人なんだということ、決して一人じゃないということ、アートを通じて感じてもらいたい！」
そんな想いで令和 4 年 5 月 5 日～6 月 10 日に募集した市民の皆さんのハンドスタンプ（手形）で、多摩市のこれまでの 50 年、これからの 50 年を描いた 9m のアート作品を展示します！
誰のハンドスタンプが欠けても成立しない多摩のまちを、ぜひ見に来てください！